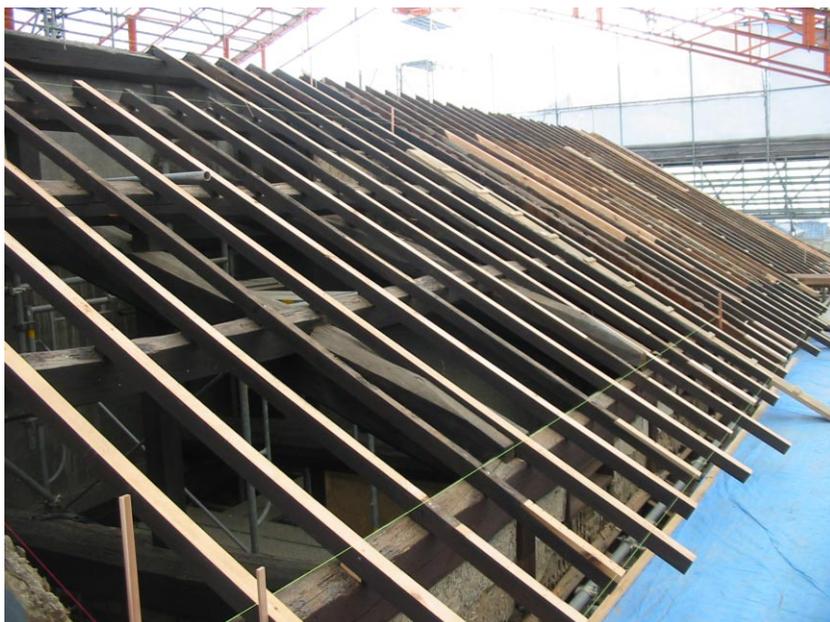


1 主屋土間台所部 垂木打ち完了

土間台所部の大屋根の木工事を引き続き進めている。

2月末には大屋根の垂木打ち付けを完了した。写真はその完了状況。母屋は経年によるねじれのため、口脇高さが一定でなく、垂木天端が揃うように逐一飼物で調整したので、当初の計画よりは手間がかかった。

来月は土居葺きの施工に向け、野地板張りや野木舞打ちに取りかかる。



2 主屋 東便所の部材補修

主屋取合部の東便所は増築されたような形で取合部東側に取り付くが、当初から建設されたものである。このため東便所部分も組み上げないと、取合部屋根を葺くことができない。2月より東便所の部材補修に取りかかった。

ここは雨漏りがひどく、広範囲に腐朽していた。軸部は杉の面皮材を用いた数寄屋風のものであるため、手間がかかるがていねいに部材を繕っている。



3 主屋 キジノマ北側の軒まわり組上げ

主屋座敷部のキジノマ北側もまた取合部屋根との間の谷より雨漏りして、小屋材や軒が腐ってしまっていた。解体範囲を最小限にして、腐朽部分を切り、補足材を継いでいる。写真は茅葺と垂木を継いだ状況。

キジノマは木地間と史料にあるように、室内が塗装しないで仕上げている。今回の軒回りの修理においても、軒回りもまた塗装されていないことが確認できた。

